

F'S ECO REPORT 2014



Fukuppy

福島工業のコーポレートキャラクターです





生活者とお客様の「幸せ」に貢献する 環境先進企業をめざします。

フクシマは自然の恵みを伝える企業として、
食材を育む自然(大気・水・土壌)と社会(コト・モノ・ヒト)に資する
持続可能な開発を通じて環境に貢献します。

大気

ヒト

自然

社会

土壌

水

コト

モノ



Contents

コンセプト	1
環境方針・トップメッセージ	2
特集1「自然と調和するコト」	3
特集2「鮮と美を守るモノ」	5
事業概要	7
環境報告1「爽やかな大気」	7
環境報告2「清らかな水」	9
環境報告3「安全な土壌」	10
環境マネジメント	11

さらに努力し質を高め 社会・環境への責任を果たす

福島工業株式会社 代表取締役社長 福島 裕

2013年3月に「省エネ法」が改正され業務用冷蔵庫がトコプランナー制度の対象に追加されました。現在商品化されている商品のうちエネルギー効率が最も優れているもの（トコプランナー）の性能等を勘案して基準値が定められ、エネルギー消費効率の更なる改善の推進が求められます。弊社でもお客様のエネルギー消費低減に貢献する機器・システムの開発を環境活動の最重要課題と位置づけさらに尽力してまいります。

また、蒙特リオール議定書では、2020年を期限にHFCの生産完全廃が目標に掲げられています。冷凍冷蔵庫が使用する冷媒（R404AやR410A）は地球温暖化係数（GWP）が高く、冷媒漏洩時に温暖化への影響が大きいため、転換を求められています。弊社では、これまでの冷媒と同等の性能を満たす、低GWPで温暖化への影響が少なく、現在使用している冷媒のシステムよりも省エネである次世代冷媒への研究を進めています。

国内においては、3年前の東日本大震災後の電力供給に対する問題や電気代の値上げなどにより、省エネルギーや節電に対し国民の関心が依然として高く、企業にとっては継続的な課題として認識されており、福島工業は、以前から契約していた関西電力に加え九州電力ともBEMSアグリゲーターとし

新製品の開発においては、1月には大型製氷機のモデルチェンジ、2月にはヨコ型業務用冷凍冷蔵庫のモデルチェンジを行い、どちらもマイコンの変更等により省エネ性能を高めました。

2013年に、『ESCO事業を組み合わせたエネルギー管理システム「Bemsiyou」による環境負荷低減システムの構築」が省エネ大賞経済産業大臣賞（ビジネスモデル分野）を受賞しました。また、別置き型冷凍冷蔵庫ショーケースや、プレハブ冷凍冷蔵庫などの冷凍冷蔵庫の運転状況を解析しフロン冷媒の漏れを検知するシステムが、オゾン層保護・地球温暖化防止大賞優秀賞を受賞しました。

創業以来長年培ってきた温度コントロール技術をそれぞれの事業でさらに発展させ生活者の「幸せ」や地球環境に貢献する環境先進企業として今後も様々な環境活動に邁進してまいります。

長年培ってきた技術を
さらに発展

省エネへの探求で
社会貢献

て契約をしております。昨年電力需給率が97%と電力需給逼迫した際には、当社のBemsiyouのインフラを活用してお客様の店舗の冷凍冷蔵庫を遠隔で省エネ制御することで負荷調整に貢献しました。今後もお客様と一緒になって節電・省エネに取り組む社会に貢献してまいります。

環境にやさしい製品・サービスを提供する「エコ・パートナー」をめざします。

基本理念

福島工業株式会社は、地球環境にやさしい事業活動を重要な経営課題の一つとして認識し、環境への影響を配慮した取り組みを継続的かつ積極的に推進します。幸え創造活動の一環として「ECO-tech」を軸に、環境にやさしい製品・システム・サービスの提供・提案を行います。

- 1 業務用冷凍冷蔵庫、ショーケース・プレハブ庫・その他の関連機器及びシステムの製造・販売・工事・メンテナンス・店舗システムを提供するにあたり、お客様の環境負荷を低減する製品及びサービスの提供・提案を行います。
- 2 事業活動が環境に与える影響を的確に把握し、汚染の予防につとめるとともに、環境管理システムの継続的改善を図ります。
- 3 法規制、条例、当社が所属する業界団体・地域社会の取り決めや自主的に受け入れを決めたその他の要求事項を遵守し、環境管理に努めます。

基本方針

- 4 事業活動によって生じる環境影響のうち、下記に示す項目を重点テーマとして改善に取り組みします。
 1. 環境に配慮した製品・システムの積極的な販売
 2. フロンが環境に与える影響の低減
 3. 廃棄物の排出量削減
 4. エネルギー使用量削減
 5. 素材・消耗材の使用量削減
- 5 環境目的・目標の設定を行い、実行計画を作成し、実施します。またこれらを定期的に見直し、必要に応じて改訂を行います。
- 6 環境管理システムの文書化を行い、この内容にそって運用し環境管理システムの維持管理を行っています。
- 7 全従業員に環境方針の内容を周知徹底させるとともに、教育によって環境保護の重要性への意識向上に努めます。また、グループ会社の納入・仕入・協力会社等にも当社の環境方針及び取り組みの周知を図り、理解と協力を求めます。

2014年6月1日
代表取締役社長 福島 裕

この環境方針は、ホームページに掲載し広く一般に開示します。
また、要請のあった全ての人に、印刷物を渡して開示します。

特集1

自然と調和するコト



平成25年度

「省エネ大賞・経済産業大臣賞」を受賞。

環境負荷低減に貢献するビジネスモデル。

「ESCO事業を組み合わせたエネルギー管理システム「Bems・you」による環境負荷低減システムの構築が、平成25年度「省エネ大賞」のビジネスモデル部門において経済産業大臣賞を受賞しました。

省エネ制御システム

「Bems・you」への評価と期待

省エネ大賞とは、経済産業省の後援により一般財団法人省エネルギーセンターが、優れた省エネ活動事例や技術開発による先進型省エネ製品やビジネスモデルを表彰する制度です。平成25年度の審査において、弊社が注力しているサービスのひとつ、「Bems・you」を用いたビジネスモデルが経済産業大臣賞を受賞しました。

BEMS(※1)とは、建物内のエネルギーの使用状況の「見える化」をはかり、空調や照明などを自動制御し、エネルギー使用量を抑制する「エネルギー管理システム」です。弊社は、省エネケースと店舗全体の電力を制御する省エネ制御システム「Bems・you」を活用したESCO事業(※2)を推進しています。

食品スーパーの場合、冷凍冷蔵設備・照明設備・空調設備で店舗全体の電力消費量の9割を占めています。その中でも特に高い割合(6割)を占めるのが冷凍冷蔵設備。



「Bems・you」では冷凍冷蔵機器を中心に、建物トータルの省エネ対策をご提案しています。

本ビジネスモデル導入事例では、ピーク電力33%、消費電力量30%の削減を達成しており、審査の結果「小売店舗のESCOモデルとして独創的で普及が期待できる環境負荷低減システム」との講評をいただきました。フクシマはこれからも確かな技術と満足いただけるサービスでお客様の省エネ・節電対策に貢献していきます。

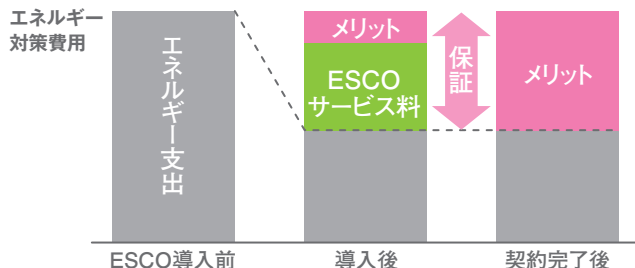
※1【BEMS】Building and Energy Management Systemの略。

※2【ESCO事業】Energy Service Company事業の略。
お客様の水光熱費等の経費削減を行い、削減実績から対価を得るビジネスのこと。

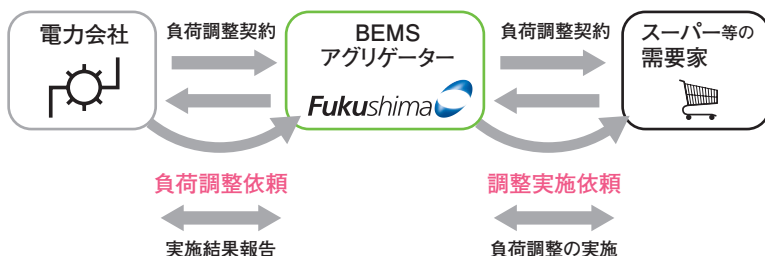
フクシマESCOは
省エネ効果を
100%保証

フクシマESCOとは、省エネルギーによる光熱費削減分で設備の更新費用が賄えるように省エネプランニングを行い、施工・ファイナンス、メンテナンス、効果保証まで弊社がワンパッケージで提供するサービスです。弊社の豊富なノウハウを活用したプランニングにより、技術・設備・ファイナンスの機能・効果保証などをパッケージで提供します。お客様に負担なく確実な省エネ・節電が実施できます。

省エネルギー効果を保証



BEMSアグリゲーターの役割

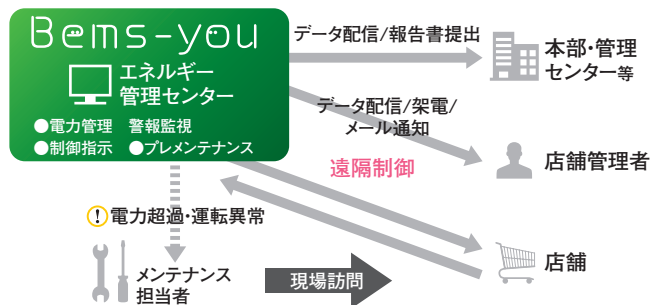


「Bems-you」を活用し、電力需給逼迫時の負荷調整を行うBEMSアグリゲーターとして、電力会社と協力し、ネガワット取引によるデマンドレスポンスサービスを行なっています。デマンドコントロールにて、店舗の電力ピークカットを行い、お客様の電気代の節約にも貢献します。

BEMS
アグリゲーターとして
省エネ・節電をサポート

24時間365日
エネルギー管理センターにて
店舗のエネルギーを
遠隔監視

エネルギー管理センターにて、専門の担当者が、24時間365日お客様店舗のエネルギー状況を管理します。目標値を超えそうな店舗をピックアップし、原因の分析や遠隔からの省エネチューニングによる処置を行い、必要に応じて現場を訪問し、省エネ運用改善を行います。設備管理システム・遠隔監視・省エネチューニング・省エネ運用改善によりお客様の省エネに貢献しています。



市場の注目を集める
省エネ関連の
展示会に出展

「Bems-you」をはじめとする事業や製品をより多くの方々に知っていただくことを目的に、フクシマでは各種展示会への出展を積極的に行っています。2013年11月にマイドームおおさかで開催された「第8回 省エネフェア」、並びに2014年1月に東京ビッグサイトで開催された「ENEX 2014」（第38回地球環境とエネルギーの調和展）にも出展し、各方面から反響をいただきました。



ENEX 2014（アワードコーナー）



省エネフェア

特集 2

鮮と美を守るモノ

モデルチェンジで更なる省エネへ。 フクシマ、トップラランナー制度への挑戦。

省エネ法が定める「トップランナー制度」に基づき、「タテ型冷凍冷蔵庫Aシリーズ」に続いて「ヨコ型冷凍冷蔵庫Y2シリーズ」をモデルチェンジ。更なる省エネを実現しています。

トップラランナー制度に適合 フクシマの省エネ機器

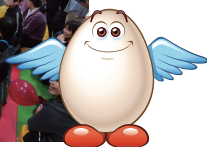
「トップランナー制度」とは、省エネ法の中の機械器具に関わる措置のことで、製造事業者及び輸入事業者等に省エネ型の製品を製造・販売するよう基準値を設け、その基準値をクリアするように課すものです。「省エネ法」が改正され、2014年3月より業務用冷蔵庫がトップラランナー制度の対象になりました。業務用冷蔵庫においても、現在商品化されている商品のうちエネルギー効率が最も優れているもの（トップラランナー）の性能等を勘案して基準値が定められ、エネルギー効率の更なる改善の推進が求められます。

「環境にも厨房にもやさしい冷蔵庫」の開発に取り組むフクシマでは、「ヨコ型冷凍冷蔵庫Y2シリーズ」をモデルチェンジし、更なる省エネを実現しています。

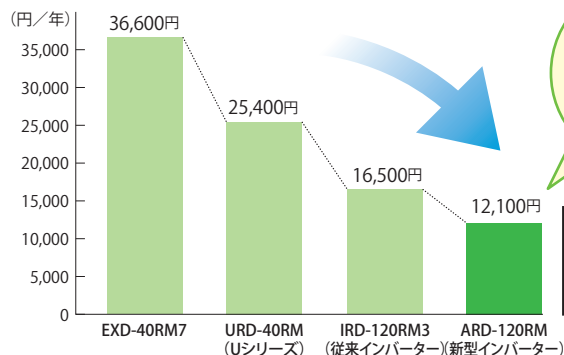


「食博2013」で 環境への企業姿勢をPR

食の絆をテーマとする展示会「食博2013」（2013年4月、インテックス大阪）に出展しました。ファミリー層を対象に、環境への取り組みをパネル展示によりPRしました。



年間ランニングコスト比較



省エネ率
約**66.9%**
2016年
省エネ基準
達成率125%

	EXD-40RM7 (05年生産機種)	ARD-120RM (新型インバーター)
年間電気 料金の目安	約 36,600円	約 12,100円

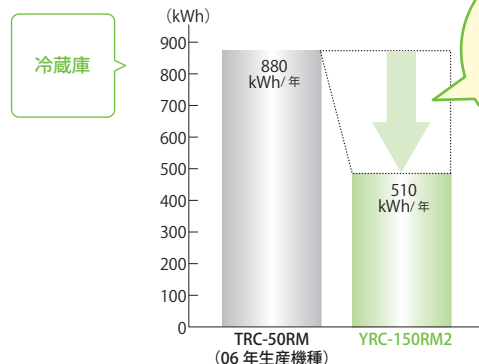
業務用
タテ型冷凍冷蔵庫
Aシリーズ



単相100V:22円/kwh

従来機種と比較して年間電気代を1/3に。

年間消費電力の削減

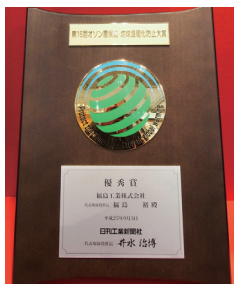


省エネ率
約**42%**
2016年
省エネ基準
達成率118%

消費電力量を大幅削減する次世代モデル。



業務用ヨコ型冷凍冷蔵庫Y-2シリーズ



「オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」優秀賞

フロン冷媒漏れ検知システム

フクシマが開発・運用している「フロン冷媒漏れ検知システム」が、日刊工業新聞主催「第16回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」優秀賞を受賞しました。冷凍冷蔵機器の運転状況を解析し、フロン冷媒漏えいの早期検知により、庫内温度上昇による陳列商品の廃棄を防ぎ、冷凍機の負荷増大の低減に貢献します。



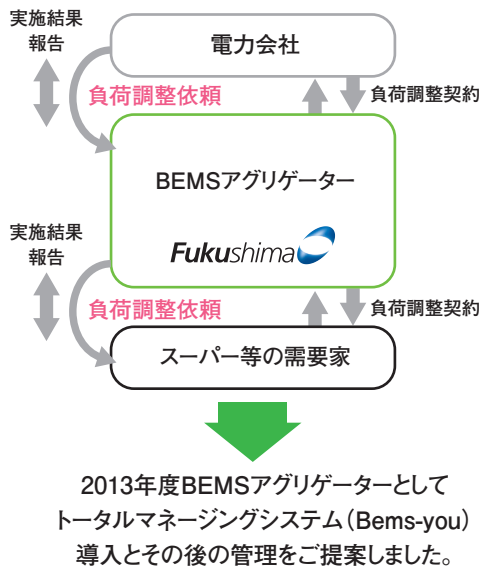
OUTLINE

事業概要

高度な温度コントロール技術をコアに、
フードビジネスに新しい価値を創造します。

福島工業は、飲食店の厨房などで主に利用される「業務用冷凍冷蔵庫」、スーパーの売り場で生鮮食品などを陳列する「冷凍冷蔵ショーケース」を中心に、フード機器の専門メーカーとして食を支え、高度な温度コントロール技術で業界をリードしています。ハードの提供だけでなく、店舗の仕組みづくりの提案、さまざまな製品を組み合わせた厨房のトータルプロデュースなどを行います。さらに、厨房機器全体の集中管理を行う「HACCPマスターV3」や機器異常を遠隔監視するシステム「Sネット24」、ショーケース・空調などを自動制御する「アクシアエコマスター」など、ソフトでもお客様をトータルサポートする体制を確立しています。また、環境負荷低減システムとしてエネルギー管理システム「Bems-you」を構築し店舗トータルの省エネを推進しています。

BEMSアグリゲーターとして お客様の省エネ・節電に貢献



2013年度BEMSアグリゲーターとして
トータルマネージングシステム(Bems-you)
導入とその後の管理をご提案しました。

■2013年度(関西電力管内)
17店舗でご賛同いただきました。

■夏季・冬季で電力逼迫が予想された9日間、
デマンドコントロールによる節電を実施

19店舗(当社含む、9日間合計)
4.2MW 電力削減



会社概要

社 名
福島工業株式会社
FUKUSHIMA INDUSTRIES CORP.
本 社
〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-16-11
東京証券取引所 市場第1部
設 立
1951(昭和26)年12月8日
資本金
27億6千万円

従業員
連結 1412名
単体 1038名(準社員除く)
事業内容
1.業務用冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケース、メディカル関連機器、その他冷凍機応用機器の製造・販売
2.店舗システム、厨房総合システムの設計・施工
3.その他上記に付帯する業務

爽やかな大気を守るため 「オゾン層の保護」「地球温暖化防止」に 取り組んでいます。

岡山工場

生産性向上と 電力使用量の 「見える化」

1台当たり電力使用量
2012年度比

2.9%減

環境負荷を軽減する 太陽光発電設備の導入

約2,300枚
太陽光パネル設置

440MWh発電

①電力使用量の削減

生産性向上と電力使用量の「見える化」をテーマに、製品1台当たりの電力使用量を2012年度比で2013年度に4%削減する目標を掲げ、電力使用量削減への取り組みを推進してまいりました。

生産性向上では、生産革新活動、小集団活動等、様々な活動を通じ、製品1台あたりの工数を削減し、エネルギーの削減に取り組んでいます。

電力使用量の見える化では、生産ライン毎の消費電力と電流値をモニタリング、各機器

の稼働状況を分析しています。それにより、夜間・休日のタイマーによる設備の停止、起動時間の調整等を行いました。

その結果、製品1台当たりの電力使用量を2012年度比2.9%削減ができました。

②LPG消費効率の削減

LPG消費効率(LPG使用量/塗装良品個数)を2012年度比で2013年度に3%削減を目標に掲げ、塗装設備の定期メンテナンスの実施、不良率削減活動を推進しています。

その結果、LPG消費効率を2012年度比で、4.7%削減する事ができました。

岡山第二工場の屋上に約2300枚の太陽光パネルを設置しました。2013年5月下旬より発電を開始し導入時予想発電量397,000kWhを約10%上回る約440,000kWh発電しました。これは一般家庭に換算すると約75世帯分の年間電力使用量

に相当します。

発電データは本社・岡山工場の2か所でリアルタイムに管理されています。

2014年度の予想発電量は約502,230kWhの発電量を見込んでおり、環境負荷軽減に取り組んでまいります。



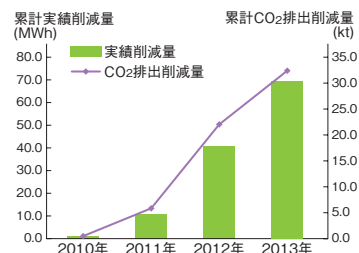
本社・各支社

エネルギー管理店舗 200店舗 (2010～2013累計)

**CO₂排出量
38,246t削減**

2012年にリリースしたBems-youを用いて現在まで200店舗のエネルギーを管理しています。管理をしている店舗の中では冷蔵・冷凍設備の最適制御、インバータ冷凍機の導入、デマンド制御空調設備などの運用改善案等を実施しています。

これまでの実績として電力削減量が累計69,539kWh、CO₂排出量にして38,246tを削減しました。



清らかな水を守るため 「有害物質の削減」に 取り組んでいます。

岡山工場

廃アルカリ・ 廃シンナーの削減

廃棄量 2012年度比
廃アルカリ

23%削減

廃シンナー

0kg

岡山工場では、塗装工程において、ボイラー設備・前処理設備及び塗装吹付けブースから排出される廃液を「廃アルカリ」とし、産業廃棄物として廃棄しています。この廃棄物を削減する為、2010年10月に廃アルカリ中和装置を導入し、ボイラー設備から出る廃アルカリを処理し、廃アルカリの削減へと繋がりました。この中和装置の管理は日常管理の中で点検しており、異常が出ると直ちに察知出来るよう監視体制を整えています。

又、同じ塗装工程から出る「廃シンナー」を業者へ委託し、再生シンナーとして再生してもらい、これを工場で再使用する様に変更しました。これにより、今まで廃シンナー

として産業廃棄物として廃棄していたものを2010年11月以降より廃棄量“0”へと結果に繋げています。今後も廃棄物ゼロへ向けて、活動を推進していきます。

滋賀工場

特別管理産業廃棄物の 排出量の低減

塗装工程での廃シンナーを廃棄から再生業者に買い取ってもらい排出量の低減を行いました。

また洗浄用のシンナーをその業者から購入することによりシンナー再利用のサイクルも構築しました。

安全な大地を守るため 「廃棄物の削減」「資源の有効利用」に 取り組んでいます。

3Rへの 取り組みを推進

3R(リデュース・リユース・リサイクル)を
合言葉に、日常の業務からこまめな取り組
みを行っています。代表的な活動としては、
コピー用紙の購入量削減のための裏紙利
用徹底を実践。コピー機の横に裏紙BOX
を設置し、サイズ別に分類するなどして裏

紙利用の意識を高めています。また不要に
なった図面の再利用、電子データ活用によ
る紙の消費量抑制なども進めています。今
後も活動のさらなる強化を図り、減少をめざ
します。

節電アクションプラン 実施

- ①昨夏と昨冬に節電アクションプランを
全社で実施しました。
空調の標準温度を冷房28℃、暖房
20℃以下に設定。
照明の間引き、自動販売機のタイマー
制御、暖房便座・エアータオルの停止など
可能な限りの節電アクションプランを実施
しました。
- ②クールビズ、ウォームビズの実施
2006年度よりクールビズ・ウォームビズを

全社で導入実施し、夏場＝室温28℃以上、
冬場＝室温20℃以下を空調温度設定と
ともに徹底しています。

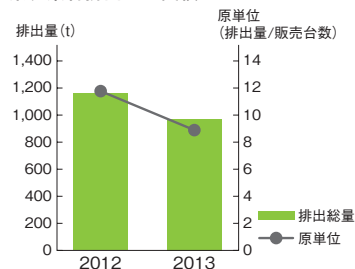
③照明機器・パソコンの電力量の削減
昼休み・帰社後に照明をひもスイッチで
こまめに消灯を行い、パソコンの画面照度
をエコ設定にするなど電力消費の削減にも
力を入れています。
また今秋全社の照明をLED照明に交換
し、電力消費の削減に取り組みました。

産業廃棄物排出量 の削減

排出量 2012年度比
16.2%削減

日常的な3Rへの取り組み
により、2013年度の産業廃
棄物総排出量は目標値を
下回る結果となりました。

産業廃棄物排出量 実績グラフ



当社では環境経営に向けて、ISO14001による環境マネジメントシステム（EMS）を構築しています。マネジメントサイクルは、中長期計画をもとに年度環境目標を定め、各サイトのマネジメントプログラムで実施。各サイトでは、

年1回の環境監査（内部環境監査）でチェックし、最高経営層のマネジメントレビューにより次年度の環境目標に反映させ、継続的改善を図っています。ISO14001認証取得状況は、2000年9月に滋賀工場、2001年12月に本社・東日本支社。

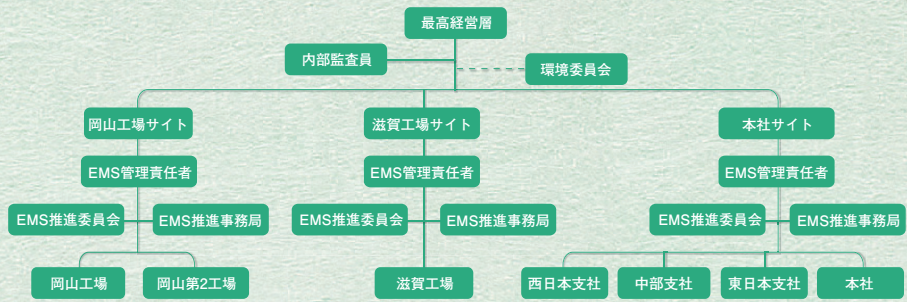
2003年1月に滋賀工場、本社・東日本支社サイトを統合し、拡大審査により中部支社・西日本支社の認証を取得。2006年9月には岡山工場でも認証を取得し、全支社が一体となった体制を整えています。

ISO14001 認証取得状況

取得年月	対象	登録活動範囲
2000年 9月	滋賀工場がISO14001の認証を取得	○業務用冷凍冷蔵ショーケースの製造
2001年12月	本社・東日本支社がISO14001の認証を取得	○業務用冷凍冷蔵庫・冷凍冷蔵ショーケース・各種冷凍機応用機器の販売、据付およびメンテナンス
2003年 1月	滋賀工場および本社・東日本支社サイトの統合	○業務用冷凍冷蔵ショーケースの製造 ○業務用冷凍冷蔵庫・冷凍冷蔵ショーケース・各種冷凍機応用機器の販売、据付およびメンテナンス
	中部支社・西日本支社ISO14001の認証を取得	○業務用冷凍冷蔵庫・冷凍冷蔵ショーケース・各種冷凍機応用機器の販売、据付およびメンテナンス
2006年 9月	岡山工場がISO14001の認証を取得	○業務用冷凍冷蔵庫の製造

EMS推進体制

EMS 推進委員会を中心に、環境目標の策定、実績の把握を行い、さまざまな活動を推進しています。



環境監査

EMSが有効に機能しているかを確認するため、内部監査を年1回、外部認証機関による外部審査を年1回実施しています。内部監査員は、内部監査員養成セミナーを受講し、能力が認められた登録者の中から選任。現在の登録者は77名となっています。

2013年度の内部監査では26件の指摘事項が検出されましたが、すべてに対して迅速な対応を実施しました。また2013年9月には外部審査（定期審査）を行いました。不適合はありませんでした。

推進委員会

各サイトには、EMS管理責任者の下にEMS推進委員会が設けられており、定期的な会合・目標の策定・進捗と見直しなど、さまざまな情報交換が行われています。人数は2013年度実績で、本社サイトで41人、滋賀工場サイトで19人、岡山工場サイトで20人で運営していました。2014年度も本社サイトは41人、滋賀工場サイトは19人、岡山工場サイトは21人で運営しています。

環境教育

年間教育計画表をもとに年1回、全従業員（一般社員・パート・派遣社員・請負業者）に向けた環境教育を実施しています。当社にとって最も関わりの深い環境活動であるフロン回収作業については、独自の認定基準を設け、認定登録者による回収作業を徹底。フロン回収技術者には、毎年緊急時の対応訓練を実施するなど、能力の強化を図っています。



本社・東日本支社・中部支社・西日本支社



目標達成率100%



目標達成率80%以上



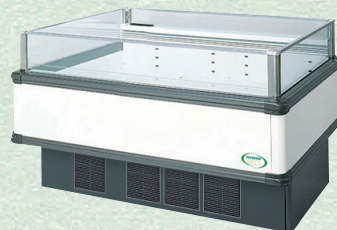
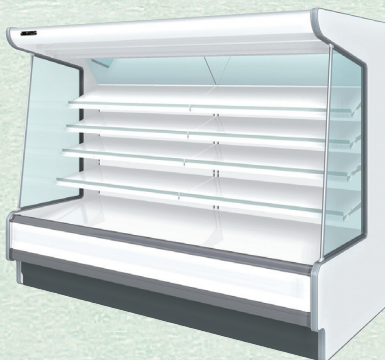
目標達成率80%未満

環境方針	環境目的	目標（行動の内容）	2013年度実績	評価
製品・サービスを通じた環境貢献	ECO-techを軸として、環境・安全・安心の製品・システム・サービスを提供し、エンドユーザーの環境負荷低減に寄与する	①省エネ型製品（インバーター冷蔵庫、Axia-eco、Send You、Axia-ecoマスター、IMインバーター）の拡販	省エネ型冷蔵庫の販売台数 2010年度比437%	
		②長持ちビジネスの推進・提案	機能回復を図り、トータルでの資源有効活用に寄与	
		③省エネによるESCO提案、省エネシステムの開発・提供（ESCOビジネスの推進・提案）	ESCOビジネスの推進・提案により電力使用量削減に寄与	
		④安全・安心契約、システムの開発・提供	Sネット24(店舗設備24時間監視システム)による省エネ効果 プレメンテナンスによる故障率の軽減、食材ロス削減、製品の高寿命化に寄与	
		⑤プラスト・RO・FEクリーン水の拡販	プラストチャー：電力使用削減、衛生管理向上に寄与 RO水：安全で安心な水を提供、廃棄物削減(資源節約)に寄与 FEクリーン水：衛生管理向上に寄与	
		⑥上記項目の販促ツールの作成・情報提供	環境配慮型製品(インバーター冷蔵庫・Axia-Eco等)の販促ツール作成：プログラム達成率100%	
オゾン層の保護	サービス時・機器廃棄時の冷媒（フロンガス）回収の徹底（委託業者含む）	冷媒回収量・破壊量の記録の徹底	オゾン層破壊物質の大気排出防止	
	冷媒のガス漏れ件数の把握	ガス補充件数・充填量の把握	オゾン層破壊物質の漏洩（排出）防止 ガスチャージ件数4757件、充填量32642kg	
地球温暖化防止（CO ₂ の削減）	電気エネルギーの使用量を2010年度実績より15%削減する≡【CO ₂ 排出量を15%削減する】	①空調の標準温度設定の徹底	電気使用量実績741千Kwh、2010年度比10.7%減	
		②クールビズ・ウォームビズの実施		
		③照明機器・パソコンの無駄な電力の削減		
		④3ヶ月に一度のフィルター清掃		
	社用車の燃費の把握	⑤社屋のコンデンサー洗浄	走行距離チェックによる燃費の把握 エコドライブによるガソリン使用量の低減	
		エコドライブの実施		
		製品戻り入れ台数を前年比80%に低減させる	製品戻り入れ台数、2010年度比40.1%減	
環境教育	環境教育や啓発活動により従業員の環境マインドの向上を図る	①各部門の活動内容を社内HPへアップする	対象部門の活動報告を社内HPに掲示	
		②毎月一回社内HPへ情報をアップする	ECOニュースを毎月社内HPに掲示	
		③環境教育訓練の実施（一般教育年2回以上、その他は年1回）	社内環境教育 年2回実施	
		④ECO検定合格者数の増加	ECO検定合格者数139名	
環境コミュニケーション	[環境・安全・安心]の情報発信	①環境報告書の発行 ②オフィシャルサイトへの環境情報公開	F'S ECO REPORT 2013 発行 オフィシャルサイトに環境情報公開中	
コンプライアンス	環境関連法規制の遵守徹底（環境法、条例、業界の取り決めの遵守）	①環境関連法規制の情報開示 ②適合性のチェックの徹底（6ヶ月毎にチェックする）	関連法規制適合チェック関係部門目標年2回実施 目標達成率99%	

滋賀工場

😊 目標達成率100% 😊 目標達成率80%以上 😞 目標達成率80%未満

環境方針	環境目的	目標（行動の内容）	2013年度実績	評価
地球温暖化防止 (CO ₂ の削減)	新規開発製品・改良品で開発段階における新旧製品・部品に対して、各部品・性能に関してCO ₂ 換算を行い、改良・改善によるCO ₂ 排出量削減を目的とする	2012年度同様にLCAの取り組みとして、新規開発・部品図作成段階・性能段階においてCO ₂ 換算し、CO ₂ 排出量10%削減を目標とします。また、性能試験に用いる試験棟の電力使用量についても、昨年度比2%削減を目標とします。	モデルチェンジの省エネ化により、使用時のCO ₂ 削減量目標達成。 METシリーズの開発:35% SGCシリーズの開発:22% DMシリーズの開発:37.5% 試験棟消費電力量削減は、目標未達。 年間消費電力量 昨年度比10.4%増加 (目標:693MWh→実績:773.8MWh)	😊
	温室効果ガスの排出量を2014年度末の実績で、2011年度比6%削減する	温室効果ガスの排出量を2013年度末の実績で、2012年度比3.8%削減する。	2012年度比8.4%減	😊
		電力使用量の前年度維持	2012年度比13.4%減	😊
		都市ガス使用量の前年度維持	2012年度比20.8%減	😊
		特別管理産業廃棄物の排出量の前年度維持	2012年度比24.7%減	😊
資源の有効活用	素材消耗材の使用量を削減する	工場全体の時間当たりの付加価値を2013年度末の実績で2012年度比105%にする。	2012年度比108.9%	😊
		コピー用紙の使用量を2013年度末の実績で、2012年度比2%削減する。	2012年度比7.8%減	😊
産業廃棄物の削減と適正処理	産業廃棄物の排出量を2012年度末の実績を維持する	産業廃棄物の排出量前年度維持	2012年度比1.9%増	😞



岡山工場

😊 目標達成率100% 😊 目標達成率80%以上 😞 目標達成率80%未満

環境方針	環境目的	目標（行動の内容）	2013年度実績	評価
製品の省電力化（開発設計）	現行製品より省エネ製品の開発	縦型業冷库省エネ製品化推進	縦型業冷库製品開発完了（2014年3月～量産開始）	😊
		横型業冷库省エネ製品化推進	横型業冷库製品開発完了（2014年3月～量産開始）	😊
フロンが与える環境影響低減	冷媒回収の徹底	チェックシートによる回収記録の実施	実施率100%	😊
エネルギー使用量削減（CO ₂ 排出量の削減）	生産性向上により、製品1台当たりの電力使用量を2012年度比で2013年度に4%削減する	生産性の向上 電力使用量の見える化	2012年度比2.9%減	😞
	2012年度比LPG消費効率（LPG使用量/塗装個数）を2013年度に3%削減する	塗装設備の定期メンテナンス 溶剤塗装不良低減	2012年度比4.7%減	😊
廃棄物の削減と適正処理	産業廃棄物の排出量を2012年度比で2013年度に10%削減する	梱包材、梱包方法の見直し	2012年度比15%増	😞
素材・消耗材の使用量削減	スクラップを2012年度比で、2013年度に5%削減する	板金廃棄の低減 試作部品廃棄の低減	2012年度比11%増	😞
環境教育	環境教育、啓発活動により、エネルギー資源・生産資源節減への意識を向上させる	教育計画の実施	計画に対して100%実施	😊
		各部門の活動内容を社内HPへ掲載	対象部門の活動内容を社内HPへ掲載	
コンプライアンス	環境関連法・条例・業界取り決めの遵守	有機溶剤作業主任者の養成 マニフェスト・MSDS管理を徹底	目標に対して100%実施	😊

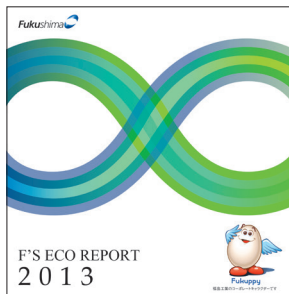


WEBサイトや冊子で環境情報の発信に取り組んでいます

福島工業では、企業理念に基づいた環境方針やさまざまな環境保全活動への取り組みを社内外に向けて発信するため、ホームページや環境報告書の作成などを通じて、積極的な環境コミュニケーション活動を行っています。



ホームページ



F'S ECO REPORT

福島工業の認知向上を図るプロダクトステッカー誕生

このたび福島工業は、環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指す弊社の企業姿勢を伝えるコーポレートキャラクター「Fukuppy」のプロダクトステッカーをリリースしました。製品への貼付けや製品カタログへの掲載を行い、これまで以上に幅広いステークホルダーと出会い、愛される企業として活動を推進してまいります。



チャリティーを通じて自然保護活動に取り組んでいます

福島工業の岡山工場にて、年2回のチャリティー活動を実施しています。社員にお中元やお歳暮を販売し、その売上を「日本経団連自然保護基金」へ寄付しています。チャリティーを通じて社員とのコミュニケーションを図りつつ、自然保護活動に取り組んでいます。



【表紙デザインについて】

省エネ大賞・経済産業大臣賞の受賞やトップランナー制度への取り組みなど、よりよい豊かな環境づくりのため、あらゆる可能性の芽を育てていく、福島工業の社会貢献への活動姿勢を表現しています。

【編集方針】

本報告書は、環境保全活動をわかりやすく情報開示し、事業活動に関わる株主様やお客様をはじめ、広く社会とのコミュニケーションを図ることを目的として作成しています。

2014年度報告書は、当社の環境マネジメントの考え方や、取り組み内容・その結果の環境パフォーマンスなどを、2013年度の環境保全活動実績をもとに作成したものです。当社の環境に対する取り組みの中から、重点的に取り組んでいるものを中心に編集しました。

●本環境報告は、当社の環境マネジメントシステム(EMS)の範囲を基本としていますが、データ集計範囲が異なる場合は、その都度表記します。

環境報告書「F'S ECO REPORT」に関するお問い合わせ先

福島工業株式会社

本 社

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-16-11
TEL 06-6477-2011 (代) FAX 06-6477-0755

<http://www.fukushima.co.jp/>

